

関係性の中に生きるわたし

ねらい ▶▶

- 自分のアイデンティティを他者や社会との関わりの中でとらえ、その多面性に気づく。
- アイデンティティとは、その人に固有の大切なものであるが、社会の中では必ずしもすべてが同じように尊重されていないことを知り、どんなアイデンティティも尊重されるにはどうしたらよいかを考える。

キーワード アイデンティティ、多様性、関係性、尊重、自己肯定

準備物

- 歌詞カード ● アイデンティティ・カード (切り離しておく) グループに1セット
- マーカー 1人1本 ● ふせん紙 1人10枚程度 ● もぞう紙 (1/2サイズ) グループに1枚
- A4白紙 グループに3枚 ● ホワイトボードと専用マーカー (黒板も可)

プログラムの流れ

- | | | |
|-----|---------------------------------|---|
| 5分 | 1. 趣旨とルールの説明 | ● ねらいの説明など。 |
| 20分 | 2. ペアで自己紹介・他己紹介 | ● 自己紹介と導入。 |
| 25分 | 3. 関係性の中に生きるわたし | ● 自分のアイデンティティを他者や社会との関わりからふりかえる。 |
| 25分 | 4. このアイデンティティは言いやすい? | ● さまざまなアイデンティティの要素が社会の中でどう扱われているかを整理する。 |
| 15分 | 5. みんなのアイデンティティが大切にされるために | ● よりよい社会をつくるためになにができるかを考える。 |

時間

詳細な手順

ポイント

スタート

1 趣旨とルールの説明

5分

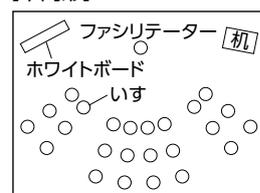


今日はワークショップ形式で学んでいきます。ワークショップというのは、講師が答えを持っているのではなく、参加者のみなさんがやりとりしながら、考えを深めていく学び方です。

人権というと、難しく思われる方も多かもしれませんが、できるだけ身近なところから考えていきたいと思っています。正解があるわけではありません。みなさんには、ふだんの言葉で、自分の思うことをおしゃべりしていただければと思います。

会場設営の例

[半円形]



※会場の形は、アクティビティによって変えやすいよう、机なし、イスのみで設営しておく。机は後で使うときに出しやすいよう、横に置いておくとうい。

そのために、3つ、お願いがあります。この場では、「協力・尊重・守秘」をルール(約束)としたいのです。

●「協力」「尊重」「守秘」と板書する。



「協力」とは、おたがいに学ぶために協力しましょう、ということ。「尊重」とは、それぞれのあり方や意見・思いを尊重しましょう、ということ。「守秘」とは、ここで出された個人の経験や考えはこの場にとどめる(外に持ち出さない)、ということです。

今日は、自分自身のアイデンティティについてふりかえります。アイデンティティというと、その人の“内面”のことと思われる方もあるかもしれませんが、他者や社会との関係性から考えてみたいと思います。

5分
経過

2 ペアで自己紹介・他己紹介

20分

席替えと項目検討5分、自己紹介&インタビュー 3分(@1.5分×2回)、
移動と他己紹介7分、全体共有5分

2人組を作る(席替え)



はじめに、ペアになって自己紹介をします。近くの方と2人組を作ってください。お知り合いの方と近くに座っている場合は、少し移動して、あまり知らない方と組んだ方が照れくさくないかもしれません。

個人で自己紹介の項目・内容を考える



自己紹介の前に、まずは、なにを話そうか、考える時間をとります。あわせて、相手にどんなことを聞いてみたいかを考えてみましょう。1分ほど時間をとります。

10分
経過

自己紹介をする



では、自己紹介をはじめます。3分程度とるので、おたがい自己紹介をしてください。先ほど考えたことにそって、質問をしていただいてもかまいません。1分半たったら声をかけるので、2人ともが話せるように、交代しながら知り合ってください。

4人グループを作り他己紹介をする



おたがい、知り合うことができたでしょうか。こんどは、今のペアが2つ一緒になって、4人のグループを作ってください。そのグループの中で“他己紹介”をしたいと思います。他己紹介とは、自分で自分のことを紹介するのではなく、先ほどのペアの方に自分のことを紹介してもらったりやり方です。紹介してもらっている間は、「さっきの自己紹介で、わたしのことをこんなふうに受け止められたんだな」と思いながらだまって聞いておいてください。1人30秒ずつで交代します。全員が終わったら、補足・修正や、感想を話し合ってください。では、はじめましょう。

●30秒ごとに声をかける。

・時間に余裕がある場合は、円形などに席替えするとよい。

・参加者数が奇数の場合は3人組を1組作り、時間を少し長めにとる。

・ペアが奇数組ある場合は、3組6人のグループをつくる。



自分自身でイメージしている自分と、他己紹介で話された自分は、よく一致していたでしょうか。それともずいぶん違ったでしょうか。

20分
経過

グループで話した内容を全体で共有する



自己紹介・他己紹介をやってみて、どうだったでしょうか。グループで話したことを共有していただけますか。

●感想を数人から発表してもらおう。



自分で話す自分のことと、他の人が自分のことを紹介しているのと、ずいぶん違うと感じられた方もあるかもしれません。これは、どちらが「正しい」というのではなく、相手にはあなたがそのように見えた・感じられた、ということであり、それもあなたの一部なのです。「わたし」というのは、自分の内側で確かめるだけでなく、他者との関わりの中にあらわれてくるものもあるのではないのでしょうか。

- 何人かに発表してもらい、適宜コメントする。発表は何人かでよい。

25分
経過

3 関係性の中に生きるわたし

25分

説明4分、ふせん書き出し5分、グループで分類5分、個人のふりかえりとグループで分かち合い6分、全体共有5分

自分の肩書き・立場を書き出す



「わたし」は関係性のなかでさまざまな側面をもっています。例えばわたしは今、みなさんの前では講師ですが家に帰れば、○○であり、実家に帰れば○○、職場に行けば○○という肩書きがあります。



このように、その場の関係性によって、1人の人にもさまざまな側面があります。では、自分の場合にはどのような側面や肩書き、立場があるか、考えてみましょう。ふせん紙を配るので、思いついたものをできるだけたくさん書き出してみてください。ここは、個人作業ですが、後でグループで出し合うので、書くのは共有してもいいと思うものだけでかまいません。

●グループごとに机を出してもらい、ふせん紙・マーカーを配付する。

- 先ほどの4人グループで続ける。

- ファシリテーターの言葉 ○○は、自分にあてはまるものを入れる。
- さまざまな側面をもつ紹介として、P11にある歌詞カードを提示し、紹介するとわかりやすい。
- 歌を知っていれば歌ってもよい。
- 書き出すときは、1枚に1項目、マーカーなど見やすい筆記具で書く。
- このプログラムを実施する前に、ファシリテーター自身もやってみること。

34分
経過

グループで共有と分類をする



書き出したものをグループで共有しながら分類してみましょう。分類したら、まとまりごとに名前(カテゴリー)をつけてみてください。

●ふせん紙を貼るもぞう紙をグループに配付する。

- カテゴリーの例としては、「職業」「家族関係」「性別」「世代」など。

39分
経過

自分の中やグループでふりかえりをする



共有できたでしょうか。分類は、きっちりできていなくてもかまいません。他の人が書かれたものを見て、自分は書かなかつたけれど「わたしの場合はどうなるかな」と考えた側面はあったでしょうか。

いろんな側面をカテゴリーとして分類していただいたわけですが、ここで少しふりかえてみましょう。自分自身の中で、日ごろ意識することが多い／少ない(または強く意識している／あまり意識していない)側面(カテゴリー)はどれでしょうか。他者に対して、表現しやすい／しにくいカテゴリーはどれでしょうか。共有するという前提で書いていただいたので、自分の中では意識しているけれど、人に気軽に言うのはためらう、というようなものもあるかもしれません。少し、自分の中でふりかえる時間をとります。

先ほどのグループ作業や、今の自分の中でのふりかえたことで、気づいたことや感じたことを、グループで分かち合しましょう。

45分
経過

全体で共有する



全体に発表してもいいものがあれば、お願いします。

- 数人から発表してもらおう。

50分
経過

4 このアイデンティティは言いやすい?

25分

説明2分、並べかえ作業8分、話し合い7分、全体共有8分



先ほどあげていただいたカテゴリーは、アイデンティティともつながっています。アイデンティティというのは、うまく訳しきれない言葉ですが、その人をその人らしく形作っている要素、とでも言ったらよいでしょうか。その人を構成しているとても大切なものです。けれど、現実の社会の中では、その項目によって表明しやすかったりしにくかったりします。

アイデンティティ・カードを並べる



具体的に考えてみましょう。お配りするの、さまざまなアイデンティティの項目が書かれたカードです。

グループで話し合っ、右側に表明しやすいもの、左側に表明しにくいものを並べてみてください。もちろん、人によって考え方はさまざまなので、位置をはっきり決めるのは難しいと思いますが、どのように考えるのかを出し合ってみましょう。

- もぞう紙とアイデンティティ・カードをグループに1セットずつ配付する。

- 左右にきっちり並べなくても、真ん中あたりもあってよい。ただし、なんでも真ん中にならないように注意する。

60分
経過

「表明のしやすさ／しにくさ」に影響しているものについて考える



「表明しやすい／しにくい」で並べてみてもらいましたが、「表明できるほうがよい」「表明しなくてはならない」ではない、ということは、確認しておきたいと思います。そのうえで、みなさんに考えていただきたいのは、「表明のしやすさ／しにくさ」に影響しているものはなにか、ということです。影響しているものとしてあげられるのはどんなことでしょうか。また、自分のアイデンティティなのに、自分の中で大事に思えない、否定的に感じてしまうこともあります。その人を形作る大切なものはずなのに、なぜそんなことが起こるのでしょうか。グループで話し合ってみてください。

- 話し合いの時間をとる。



話し合っていたいただいたことを、発表していただけますか。

- グループから発表してもらおう。

75分
経過

5 みんなのアイデンティティが大切にされるために

15分

説明2分、グループの話し合い6分、全体共有7分

現状の問題点と改善のアイデアを考える



アイデンティティは個人のもですが、そのあり方・受けとめ方は、まわりの人との関わりや社会に強く影響されています。自分のアイデンティティを肯定的に思えないというのは、とてもしんどいことです。すべての人のアイデンティティが大切にされ、傷つけられないために、どのような関係性・コミュニティのあり方が望ましいでしょうか。現状でいちばん問題だと思うことを3つあげて、それに対する改善のアイデアを考えてください。

- 各グループにA4白紙を3枚配付し、記入してもらおう。



では、グループで考えたものを前に貼りだしましょう。

- グループで記入した紙をホワイトボードに貼りだし、読みあげる。



ここにあげられたものを、これからの日常の中で、ぜひ実践していきましょう。

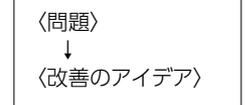
今日は参加していただき、ありがとうございました。

83分
経過

全体で共有する

- 書き方は、A4の紙1枚に1つの問題と改善のアイデアを書く。

例



- 後で前に貼るので、マーカーを使い大きな字で書いてもらう。
- 適宜、グループに質問して補足説明をしてもらう。